

2014年1月21日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報

邦人被害の多発

年末年始にかけて、観光客の犯罪被害が相次いで報告されています。概要は以下の通りです。

1. 12月28日19時頃、観光客がコパカバーナ地区シャビエル・ダ・シルベイラ通りを単身で徒歩移動中、若者2人組がナイフを突きつけて所持品を出すよう要求し、現金と携帯電話を強奪された。
2. 1月1日午前11時頃、観光客がコパカバーナビーチの砂浜に高級ブランドバッグを置いたまま5分ほど水浴びをしていたところ、目を離していた間にバッグを盗まれた。
3. 1月3日午後1時30分頃、観光客2名がセントロ地区のカテドラル・メトロポリターナ教会を出た後に付近のチリ共和国大通り路上に座って休んでいたところ、それぞれの脇の路上に置いてあったバッグを盗まれた。
被害時、1名はうとうととしており、もう一方はガイドブックを見ていたところ、近づいてきた若者2名が素早くバッグを持って走り去ったもの。
4. 1月18日午後1時頃、セントロ地区でバスに乗った観光客がリュックサックを座席に掛けておいたところ、コパカバーナで下車するまでの間にリュック内にあった携帯電話を盗まれた。

1月14日付の安全情報でも邦人被害の続発をお知らせしましたが、引き続き邦人被害が多発しています。

かなりはっきりした傾向が見られ、被害の発生場所は大半が

- ・コパカバーナ地区（砂浜及び付近路上）及び周辺
 - ・セントロ地区（特にカテドラル・メトロポリターナ教会付近路上）
- に集中しています。

ブランド物のバッグやスマートフォン、高級カメラ等、人目を惹く物の使用することを避けるとともに、所持品から決して目を離さないよう注意してください。